

平成29年度第4回共済事業セミナー開催！

～齋藤精一郎氏が「激動の世界とこれからの日本経済、地方経済」について講演～

大阪府中央会では2月5日（月）シティプラザ大阪において278名の皆様にご参加いただき、平成29年度第4回共済事業セミナーを開催いたしました。

講演のテーマは「激動の世界とこれからの日本経済、地方経済」、講師は社会経済学者の齋藤精一郎氏。



【齋藤精一郎氏】

齋藤氏はまず冒頭で、本日の講演のポイントについて話され、その後、本題に入りました。講演では、自ら作成されたレジュメに基づき、[1]世界経済も日本経済も「足元は好調、先行きは不透明」、[2]トランプノミクスの衝撃と逆説、[3]アベノミクスの「表」と「裏」、[4]21世紀型産業革命の波頭、[5]2020年が分岐点かー日本経済と地域経済の将来、の5つの項目について、詳しい分析を絡めながら分かり易く説明されました。

また、「日本では激変緩和傾向が根強く残っている」、「ネットを併用しない小売業は成り立たない」、「日本には着眼大局の思想がない」、「高齢者に甘すぎる社会である」など、日本社会並びに経済に対する辛口のコメントが数々披露されました。

最後は、「アメリカを始めとして起ころうとしている第3次産業革命に立ち向かえるような経営者を育てることが大切。その為には、自らの意識改革を行うこと、そして政府には大減税の実施を期待したい」と、一時間半に亘る講演を締めくくられました。

齋藤氏は、社会経済学者、エコノミストとして幅広い評論活動を展開されており、その講演内容は足元の経済の現状から中期的展望までを、海外情勢も交えながら明快に分かり易く解説され、企業の経営者や管理者にも大変参考となるものでした。

終了後行ったアンケートにも、「今後の産業革命・経済発展について興味深く聞かせて頂きました」、「分析が優れていて分かり易かった」、「今後のインターネットビジネスについて再認識できた」、「現在の日本の状況、世界との比較、これから先の対応を聞くことができ良かった」などの感想が寄せられ、今年度4回目となる共済事業セミナーは大盛況の内に終了することができました。

大阪府中央会では今後もこうしたセミナーを開催し、会員の皆様に様々な情報提供をさせていただきたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非次回は本セミナーにご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

